

# 松韻魂

～進路だより2018～

平成30年度 第1号

2018. 6. 20

## 昨年度の進路状況

29年度	大学	短大	専門	就職	その他	計
全体	15	15	73	95	7	205
男	9	0	32	57	2	100
女	6	15	41	38	5	105

※ただし、「その他」には進学・就職以外の進路の者も含む

上の表は、この3月に卒業した松韻6期生の進路決定状況です。進路決定率が今年も9割を超え、蓮田松韻高校としては2年連続の結果となりました。中には「私立中堅大学」をはじめ、難関看護専門学校、有名企業へと進む先輩たちもいます。

しかし、少数の進路未定者の中には「在学中にあまり進路の活動をしていない」ケースや、「希望進路先がコロコロ変わり、結局なにもできていない」ケースがありました。「高校時代にもっと真剣に考えるべきだった。」と後悔しても、もう手遅れです。

在校生の中に、常に言ってきた言葉が「就職先を選ぶときは、自分ができることから選ぶように。」です。進学の場合は、「学びたいもの」で選ぶ、いわゆる「やりたい分野」で選びますが、就職は「現在できること」で選びます。その違いを理解してください。進学・就職いずれにしても、まず「自分と向き合うこと」が必要です。その心を持ちましょう。

「心」が変われば「態度」が変わる。  
「行動」が変われば「習慣」が変わる。  
「人格」が変われば「運命」が変わる。

「態度」が変われば「行動」が変わる。  
「習慣」が変われば「人格」が変わる。  
「運命」が変われば「人生」が変わる。

## 今年度の進路指導部

今年度は、斉藤（進路指導主事 英語科）、浅見（副主事 英語科）

1年次 神長(担任 地歴公民科)、菊池(副担任 英語科)、松澤(副担任 数学科)、小太刀(年次付 理科)

2年次 前田(担任 芸術科)、福島(副担任 地歴公民科)

3年次 萩野(担任 英語科)、瀬田(副担任 芸術科)、遠藤(副担任 数学科)

以上の11人で皆さんの進路実現のサポートをしていきます。進路についての疑問・質問にはいつでも答えますので、気軽に相談して下さい。

## 中間考査と基礎力診断テストの結果について

5月2日に全学年で英数国3教科の基礎力診断テストがありました。3年次生はこれが最後の基礎力診断テストです。結果は「Aレベル」から始まる2段階学習到達ゾーンの診断で出ますが、「D2レベル」（最低D3レベル）以上であれば、進学、就職どちらでも可能性が大きく広がります。事前学習の「One-Weekトライル」はしっかりできましたか？日々の学習（努力）が将来を決定づけるのです。

1、2年次生は3学期にも基礎力診断テスト(第2回)を実施します。1回目よりもステップアップで

きるようにしましょう。振り返り学習（復習）をしっかりとやれば、次のテストに生かすことができます。

5月23日から25日まで中間考査がありました。結果はいかがでしたか？

学校は勉強する場所です。勉強しないということは恥ずかしいものなのです。まず、それを恥ずかしいと感じる「心」を持ちましょう。平然と勉強しない態度を反省する「心」を持ちましょう。

7月3日からは期末考査があります。この結果が1学期の成績に大きく影響します。特に3年次生は、ここで成績を上げていくことが自分の希望進路の実現には絶対に必要です。

## 今後の進路選択において重要なこと

まず進学についてです。

大学や短大、専門学校を受験する場合、本校の生徒の多くはAO入試や推薦入試を活用しています。しかし、昨年度までの2年間で、一般入試でチャレンジする先輩がいました。彼らは、朝早くから補習に取り組んだり、放課後も残って勉強したり・・・と真剣そのものでした。その姿勢を受け継いでください。受験勉強は「団体戦」です。一人ではない、みんなで勉強する雰囲気を作り上げることが望まれます。

さて、3年次の生徒諸君に伝えます。

AO入試のエントリー（申込み）が早い学校だとすでに始まっています。すぐに準備を始めないと間に合いません。早めの準備が大切です。オープンキャンパスでもAO入試の説明があるので、聞いてみるのもいいでしょう。ただし、簡単にエントリー（申込み）をしないようにしてください。エントリー（申込み）をする前に、必ず担任の先生や年次の先生、進路指導部の先生に相談してからにしてください。

また、推薦入試を希望する場合、大学や短大、専門学校が設定する推薦基準を満たすことはもちろん必要ですが、本校ではそれに加えて、

### 「問題行動による特別指導（謹慎以上）を受けていないこと」

が推薦のための条件となります。また、今年度の3年次からより細かく欠席日数などの条件が設定されます。（詳しいことは、後日説明があります。）

推薦とは、学校長の名で「蓮田松韻高校で有意義な高校生活を送った生徒であり、入学後もしっかり勉学に励める生徒である」と保証することです。いい加減な生徒を推薦する訳にはいきません。謹慎などの特別指導を受けないことはもちろん、卒業後も努力を続け、しっかりと学業に取り組むことのできる生徒を推薦するのです。また、せっかく入学しても、その後の学生生活がおろそかになれば、君たちを推薦した蓮田松韻高校が信用を失い、後に続く後輩たちの推薦入学を受け入れてもらえなくなります。推薦を希望する場合は、一般受験での進学に比べ、はるかに大きな使命と責任と負うものであることを十分に自覚してこれからの学校生活を送ってください。

次に就職についてです。

「勉強するのがイヤだから就職」と考えている人は就職できません。就職試験や実際に就職した後も基礎学力や一般常識は重要になります。学力が就職でも必要なものでどちらにしても「勉強」が必要です。「手先が器用だから、それを生かしたい。」「早く自立したい。」という積極的な理由ならば、成功の確率は高くなりますが、先ほどの「勉強するのがイヤだから就職」のいう消極的な理由であれば、採用してくれる事業所はないと言えるでしょう。給与としてお金を稼ぐということは、「プロ意識」を持っていなければなりません。わがままや、自分の主張は通らない世界だと理解してください。